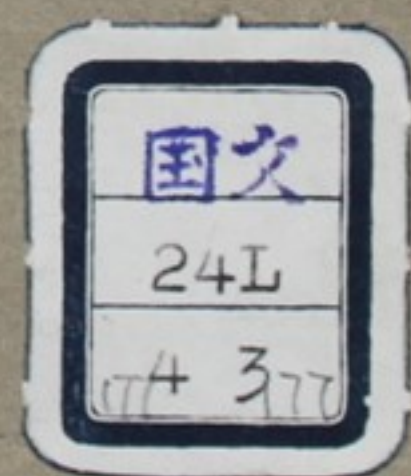






305531

報恩守節

容貌美而莖花と云ども  
人の眼をうづぶ 孝志負心  
あるとも辱し 従来の薄  
命一旦苦辛みせむと

二つとも  
 ともども皇天の  
 ありけり  
 情を蒙りて

やまび  
いづばつ  
皎月の

中

時不



○白藤一子其太



國文

24L

43



中邪神



○蛇麻葉之進

文の連人一箇の勇士と云ふも過太  
の因果不幸けて非命小死を  
嗚呼おゝい



夢裏妖怪

神莫大於化道福莫  
長死禍

一個の勇士と云ふも邪神のため  
精氣をうばれて夢中異類の变化を  
見る



○蠅頭微利











[illegible]



















「うんのいんぐでけかうみまびかう」をワグミ  
たすまぐぞわうくそわんくうくそえんくわぬ  
ひのやまひさひかうみこころやまゆみそ  
まていようろうそ  
「うのーんご子ぬまきうこー」をわめあ  
「とてさぬろうくうごごめうまーや」

[illegible]



ヨ  
フ  
フ  
ミ



五ふみあそびたてしうをいせ  
なれはつまつくもひまのめ  
これらゆめとこころまよへてゐるぞ  
かきこゑなりくるこゑなり  
ふしあかり

一、これより  
 二、おのり  
 三、おのり  
 四、おのり  
 五、おのり  
 六、おのり  
 七、おのり  
 八、おのり  
 九、おのり  
 十、おのり  
 十一、おのり  
 十二、おのり  
 十三、おのり  
 十四、おのり  
 十五、おのり  
 十六、おのり  
 十七、おのり  
 十八、おのり  
 十九、おのり  
 二十、おのり  
 二十一、おのり  
 二十二、おのり  
 二十三、おのり  
 二十四、おのり  
 二十五、おのり  
 二十六、おのり  
 二十七、おのり  
 二十八、おのり  
 二十九、おのり  
 三十、おのり  
 三十一、おのり  
 三十二、おのり  
 三十三、おのり  
 三十四、おのり  
 三十五、おのり  
 三十六、おのり  
 三十七、おのり  
 三十八、おのり  
 三十九、おのり  
 四十、おのり  
 四十一、おのり  
 四十二、おのり  
 四十三、おのり  
 四十四、おのり  
 四十五、おのり  
 四十六、おのり  
 四十七、おのり  
 四十八、おのり  
 四十九、おのり  
 五十、おのり  
 五十一、おのり  
 五十二、おのり  
 五十三、おのり  
 五十四、おのり  
 五十五、おのり  
 五十六、おのり  
 五十七、おのり  
 五十八、おのり  
 五十九、おのり  
 六十、おのり  
 六十一、おのり  
 六十二、おのり  
 六十三、おのり  
 六十四、おのり  
 六十五、おのり  
 六十六、おのり  
 六十七、おのり  
 六十八、おのり  
 六十九、おのり  
 七十、おのり  
 七十一、おのり  
 七十二、おのり  
 七十三、おのり  
 七十四、おのり  
 七十五、おのり  
 七十六、おのり  
 七十七、おのり  
 七十八、おのり  
 七十九、おのり  
 八十、おのり  
 八十一、おのり  
 八十二、おのり  
 八十三、おのり  
 八十四、おのり  
 八十五、おのり  
 八十六、おのり  
 八十七、おのり  
 八十八、おのり  
 八十九、おのり  
 九十、おのり  
 九十一、おのり  
 九十二、おのり  
 九十三、おのり  
 九十四、おのり  
 九十五、おのり  
 九十六、おのり  
 九十七、おのり  
 九十八、おのり  
 九十九、おのり  
 百、おのり

[illegible]

栗のしんが



[illegible]



月あり  
 びひで  
 うらや  
 くらや



王丸の  
 つるはらへんたけ  
 花をひたさ  
 けり  
 かしらうさ  
 あいんありやふ  
 王丸とるふ  
 なつめいん  
 つるめいん  
 うてふふ  
 たうたう

馬上あそぶるごとくといひた  
るものごとくふくれあそ  
ぶめがしはどりて

栗のしんぎふさう  
ちふらちおさ  
たちさくく  
ごもとく  
ハルんふきり  
ちりてあんち  
つたんと  
うぎひさう  
さうさうに  
あけ  
さうぬ



識書九

京傳店  
一ツ、十、五、五

のきんをとりしめのおもひ  
 なくさうまれつゝうまふ人  
 男ふれたうまふく  
 こころのうめ  
 きれぢをたててへまざる  
 あんごをうめ  
 京傳自画うめのうめ

京傳自画さんめきと















卷之四

七

[illegible]

口はよ  
あふ  
すう















七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十



あやふさふさ

[illegible]

そのをよめてせう  
ふくしなまふ  
そのとうとう  
はあいのーつ  
つなひさぬ  
ぬまぢうさぬ  
それうふあふ  
たまひやう王



九とてうゐいとうそひ  
うあんとてさせられよと  
けのくんあるふーろそれじ  
あんとうことあづうて

[illegible]

あつてふんを  
あつてふんを  
あつてふんを













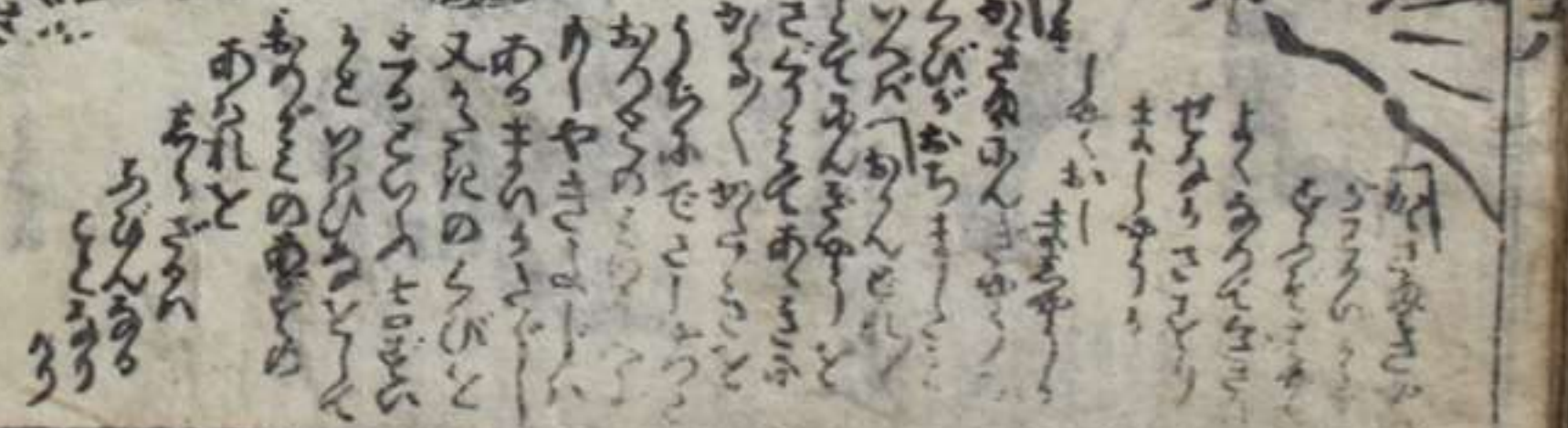
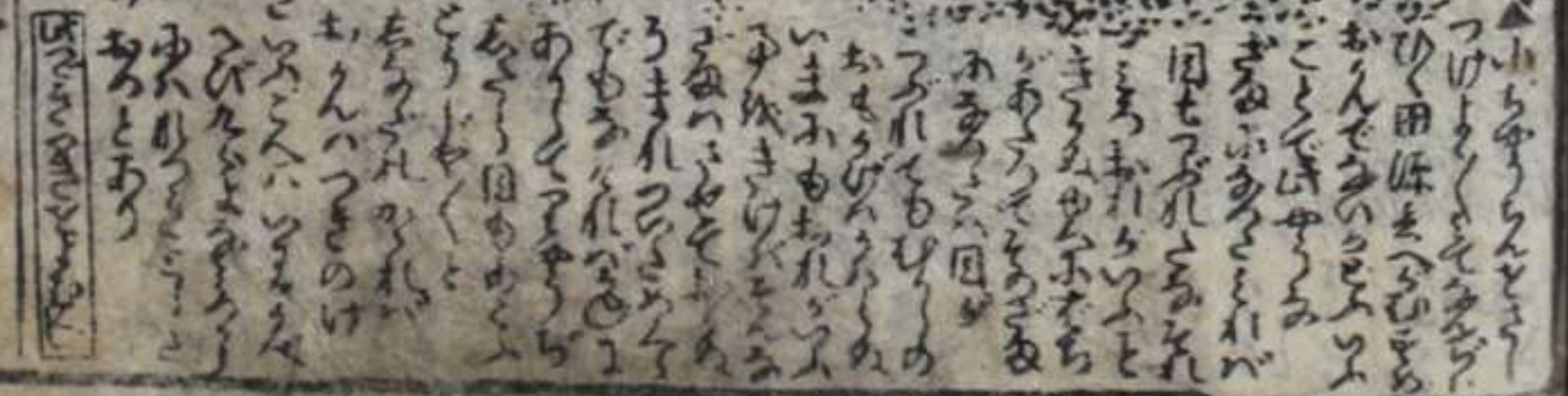








Handwritten text in a box: *Handwritten signature*













۱۰  
 ۱۱  
 ۱۲  
 ۱۳

[illegible][illegible]

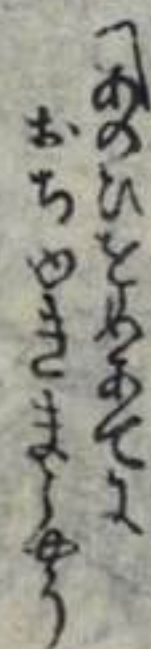






卷一

あひや

[illegible][illegible]

○京他自画三人あきさるゝあり



さあめいひたつたわ  
あうりうりうりうり  
いあわんあわい  
あうりうりうりうり  
うりうりうりうり

といふは  
 とちやゆめを  
 にもにきこ  
 のうちよ  
 えりちうの  
 ののありて  
 らい

まゐらん  
いんぎん、ちんぎん  
はれがらゐるゑん  
と云ふとのふと云ふ  
へびぬらちの助  
そのちんぎんの  
力の強ひたつて  
さう云ふ丸乃

つゝまじゝゝゝゝゝゝ  
てゝゝゝゝゝゝゝゝ  
ふゝゝゝゝゝゝゝゝ  
にゝゝゝゝゝゝゝゝ  
ふゝゝゝゝゝゝゝゝ  
ちゝゝゝゝゝゝゝゝ  
ふゝゝゝゝゝゝゝゝ

らゝあかんといふの  
わのふけぢーして  
あうとてさうさう  
そのひまふあのみ  
ふびふらうもに  
つゝあうあう  
さうしてあ  
あう



ちうきふち  
ちうきふち  
ちうきふち  
ちうきふち













山東京傳作

豐國函



重廿四十三貫目

一包一分五分

元鶴屋

全五冊  
合一卷

岡山鳥書  
歌川國貞書

十人前四譯續

全六冊  
合二卷

小枝錄  
盈齋北賦

拈一板

惣役者 志田正高

歌川豐國画  
岡山鳥戯作

あんまのり  
江戸めい  
糸  
双六  
一枚大形  
二枚とを

同作  
歌川國畫

宿音  
近江源氏湖月照

全六冊  
合一卷

紀の十字歌  
歌川国貞画

衣衣ありのちと次土校仕ゆ所求のゆりゆ



